

体験EXPO 2024 夏

博物館で出会う 学ぶ楽しさ、わかる喜び！

開催日：8月3日（土），4日~~（日）~~，10日（土），11日~~（日）~~

開催場所：京都大学総合博物館

対象：各プログラムの対象をご覧ください

小学生の方は保護者同伴でご参加ください

募集人数：各プログラムの定員をご覧ください~~（若干名）~~

応募者多数の場合は抽選になります

参加費：無料です

ただし、入館の際に博物館の観覧料が必要です

応募方法：「E-mail」または「往復はがき」でお申し込みください

<E-mailの場合>

件名に「夏休み体験EXPO参加希望」と明記の上、

1) 参加を希望するプログラム番号と名称（チラシ裏面をご覧ください）

2) 住所 3) 氏名 4) 年齢 5) 学年 6) 電話番号

7) 付添いの方の氏名（小学生の場合は必須）

を入力して下記まで送信してください

送信先：kum-event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

折り返し「申し込み受付完了」の確認メールを博物館から送信します。

抽選結果は、もう一度改めてメールでご連絡します。

一通のメールで応募できるのは、一つのプログラムだけです。複数のプログラム番号が一通のメールに書かれている場合は無効になります。携帯メールからの申し込みはご遠慮願います。

<往復はがきの場合>

~~E-mailの場合と同じく1)～7)についてご記入いただき、~~

~~下記までご送付ください~~

~~送付先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館~~

~~返信用はがきには返信先の宛名を予めご記入ください~~

~~一枚の往復はがきで応募できるのは、一つのプログラムのみです。~~

~~複数のプログラム番号が一枚のはがきに書かれている場合は無効になります。~~

応募締切：2024年7月12日（金）必着~~（定員に達し次第終了）~~

抽選結果：2024年7月19日（金）までにご連絡いたします

プログラムNo.1

シカの骨を
受けてみよう

8月3日(土)
10時30分～12時00分

対象：中学生
定員：20名

高井正成
(京都大学総合博物館)

脊椎動物の体は、骨と筋肉で支えられています。特に、骨は動物の移動の仕方によって骨の形が違ってきます。この学習教室では、森林性の四足動物であるシカの骨をならべて、どんな骨がどんな風に組み合わさって体の骨格を作っているのか、考えてみたいと思います。



プログラムNo.2

パズルを通して
立体の美しさ味わおう

8月3日(土)
13時30分～15時30分

対象：小学校高学年以上
定員：20名

立木秀樹
(京都大学国際高等教育院)

このパズル(イマジナリーキューブ・パズル)は、透明な箱に2種類の立体を入れるものです。考えながら手を動かしていると、驚きの瞬間が訪れて、頭が不思議マークでいっぱいになるはず。パズルで遊んだ後は、その不思議な図形を楽しみましょう。あなたも、この2つの形のことについて、間違いなしです。



プログラムNo.3

ちゅう類とは
どんな生き物か

8月4日(日)
10時30分～12時00分

対象：小学1年生～6年生
定員：20名

足田努
(京都大学名誉教授)

トカゲやヘビ、カメなどのちゅう類がどんな生き物かについてお話しします。博物館の標本をお見せします。



プログラムNo.4

えれめんランプで
元素博士をめざそう!

8月4日(日)
13時30分～15時30分

対象：小学3年生～中学生
定員：20名

桜井弘
(京都薬科大学名誉教授/元素周期表同好会)

ひとや動物、植物、昆虫、微生物、鉱物、宇宙、そしてみんなの身のまわりのものは、すべて元素からできています。現在118個の元素が知られ、これらは周期表としてまとめられています。118枚の元素カードでできた「えれめんランプ」を友達とゲームをしながら、元素博士をめざしましょう!



プログラムNo.5

なんでこんなカタチ?
とわかってみよう魚の標本

8月10日(土)
10時30分～12時30分

対象：小学3年生～中学生
定員：20名

松沼瑞樹
(京都大学総合博物館)

魚には、ヒレをつかって空を飛ぶものもいれば、深海の暗闇で光を発するものもいます。いろいろな魚の標本をみて、さわって、その魚のカタチにどんな意味があるのか想像してみましょう。深海魚やトンボウなど、水族館や図鑑でみることがあるかもしれない魚の実物も登場します。この夏はさきも魚博士になろう!



プログラムNo.6

三葉虫を調べよう

8月10日(土)
14時00分～15時30分

対象：小学校高学年
定員：20名

大野照文
(高田短期大学/京都大学名誉教授)

三葉虫がどんな生き物で、どんなふうに暮らしているのかを調べます。まず、一人一人が本物の三葉虫をスケッチします。そのあと、いじわる質問に答えていきます。何人かのグループを作って相談しながら推理して、答えを発表していきます。全部のいじわる質問に答えたら、三葉虫博士の修了証をもらえます。



プログラムNo.7

「水の路、琵琶湖疏水」
地盤をさぐる疏水の今、昔ー

8月11日(日)
10時30分～12時00分

対象：小学校4年生以上
定員：20名

小森千賀子
(京都大学大学院人間・環境学研究科/琵琶湖疏水アカデミー)

4年8か月の大工事の末、明治23年(今から134年前)に完成した滋賀と京都、伏見を結ぶ琵琶湖疏水は、京都に「新しい水の路」をもたらした。地域の発展に大きくかかわりました。地図や写真ははじめるいろいろな資料と体験活動から、高低差の地形を生かした水のすがた京都のまちのうつろいを発見していきます。



プログラムNo.8

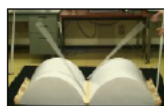
遊びで学ぼう!
形と動きのアンギ

8月11日(日)
13時30分～15時30分

対象：小学4年生～6年生
定員：20名

松浦昭洋
(東京電機大学)

よくできたおもちゃや遊びには、うまく遊べるしくみやコツ、工夫などがあります。お手玉やジャロベエ、棒立てなど昔ながらのおもちゃや遊び、先生自身が発明した新しい道具を使って、楽しみながら考える体験をしてみませんか? 先生のパフォーマンスも飛び出すかも! 乞うご期待



京都大学総合博物館
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL: 075-753-3272
<https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

アクセス
市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分
京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。